



アドビ、クロスチャネルキャンペーン管理アプリケーション「Adobe Campaign」に クラウドベースの「Adobe Campaign Standard」を追加

直感的なユーザーインターフェースと効率的なコンテンツ制作により
パーソナライズした顧客体験の提供がさらに容易に

【2020年3月26日】

アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ジェームズ マクリディ、以下アドビ）は本日、デジタルエクスペリエンスソリューション「[Adobe Experience Cloud](#)」の一部であるクラウドベースのクロスチャネルキャンペーン管理アプリケーション「Adobe Campaign Standard」の日本での提供開始を発表しました。Adobe Campaign Standard は、Eメール、モバイル、Webなどのオンラインチャネルと、ダイレクトメールなどのオフラインチャネルを含む、オムニチャネルでのマーケティングを自動化することで、より効率的に顧客との One to One コミュニケーションを実現するアプリケーションです。

アドビはこれまで、オンプレミス、クラウド、ハイブリッドに対応したクロスチャネルキャンペーン管理アプリケーション「[Adobe Campaign](#)（Classic）」を提供してきましたが、国内におけるクラウドの利用拡大に伴い、この度、クラウドに特化し、直感的なインターフェースで1時間当たり2千万通以上の配信に対応する Adobe Campaign Standard を Adobe Campaign のラインナップに追加しました。これにより、企業は、より手軽に効率的なコンテンツ制作によるパーソナライズした顧客体験を提供することが可能になります。

アドビは、日本市場のニーズに対応するため、国内通信事業者各社の携帯メールや SNS など日本特有のチャネルへの対応も進めているほか、Adobe Campaign の基本的な機能をわかりやすく紹介する日本語によるクラスルームトレーニングを提供します。

Adobe Campaign Standard の主な特長は下記の通りです。

- 直感的なユーザーインターフェースによるコンテンツ制作作業の効率化

HTML の知識がなくても多彩なメールテンプレートをもとにドラッグアンドドロップで直感的なコンテンツ制作が可能です。[Adobe Creative Cloud](#) の SDK を利用することで文字を追加する、フィルタをかけるといった簡単な画像修正も可能となるため、コンテンツ制作作業を効率化することができます。

また、デジタルエクスペリエンス管理ソリューション「[Adobe Experience Manager](#)」を活用している企業は、デジタルアセット管理機能「Adobe Experience Manager Assets」に保存した素材を活用したコンテンツを Adobe Campaign Standard でシームレスに活用することが可能です。

- 視認性・分析性の高いレポート機能

アドビの分析アプリケーション「[Adobe Analytics](#)」の「ワークスペース機能」と同じユーザーインターフェースで分析レポートを作成可能です。これにより Adobe Campaign Standard で配信されたコンテンツに関する直感的かつ深掘りしやすい形での分析が可能になりました。

- モバイル向けパーソナライゼーション機能強化： GEO フェンスに対応したアプリ内メッセージおよびプッシュ通知

Adobe Experience Cloud の共通 SDK を活用することで、モバイル向けにパーソナライズされたプッシュ通知を容易に実現します。また、モバイル端末の GPS 機能を活用した GEO フェンスに対応したアプリ内メッセージおよびプッシュ通知による位置情報マーケティングも実現します。

- 高いメール配信キャパシティ

1億プロファイルで1時間当たり2千万通というエンタープライズでも安心して利用できる競合優位性の高い配信キャパシティを実現しました。また、通数課金ではなくアクティブプロファイル数による課金のため、施策数の上限を気にせず配信することができます。

- セグメント作成の簡易性向上

Adobe Analytics のセグメント作成機能と同様のユーザーインターフェースで容易に条件抽出とセグメント作成が可能になりました。これにより、SQL を利用せずに容易に対象セグメントを利用することが可能になります。

また、4月15日に Adobe Campaign Standard の詳細をご紹介しますウェブセミナーを予定しています。
[こちら](#)から参加登録を受け付けています。

Adobe Experience Cloud について

アドビは、Adobe Experience Cloud で顧客体験管理（CXM）を再定義します。Adobe Experience Cloud は、エクスペリエンスのためのデジタルコンテンツの制作からマーケティング、広告、アナリティクス、コマースを含む業界唯一の包括的なソリューションです。Adobe Experience Cloud は、すべてのタッチポイントやあらゆるチャンネルを通し、魅力的な B2C/B2B/B2E エクスペリエンスを一貫性と継続性をもって提供することを支援し、顧客のビジネス成長を加速させます。静的かつ分断化された顧客プロフィールのみを扱う従来のエンタープライズプラットフォームと異なり、Adobe Experience Platform は企業が顧客を完全に理解する手助けを行い、さらにアドビの AI および機械学習テクノロジーである Adobe Sensei により、データから知見を得てアクションに繋げる支援をします。エクスペリエンスを主題にした主な調査報告書において、業界アナリストがアドビをリーダーとして位置づけるものは 20 を超え、これはテクノロジー企業のなかでも突出しています。

アドビについて

アドビは、世界を変えるデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[web サイト](#)に掲載されています。